

RYOBI

リョービ株式会社 2023年12月期 決算説明会

2024年2月14日



1. 2023年12月期 決算実績	P. 3
2. 2024年12月期 業績予想	P.12
3. 事業別状況・トピックス	P.19
(1) ダイカスト事業	
(2) 住建機器事業	
(3) 印刷機器事業	
4. サステナビリティ / ESG	P.32
5. 財務戦略	P.35

1. 2023年12月期 決算実績

決算のポイント

➤ 連結業績 増収（過去最高売上高）・増益（前年同期比）

（ダイカスト）

- ・ 売上は国内・海外ともに増収 半導体の供給制約緩和に伴って自動車生産の回復が進んだことに加え、円安により在外子会社の円換算額が増加したことで増収
- ・ エネルギー価格の高騰や労務費の増加等の影響があったが、増収の効果などにより増益

（住建機器）

- ・ 売上は国内・海外ともに増収
- ・ 海外生産品の調達コストの上昇や労務費の増加などにより減益

（印刷機器）

- ・ 売上は国内・海外ともに増収 国内は政府等の補助金による設備投資の促進効果に加え、海外は受注が堅調に推移し増収
- ・ 生産性の改善に努めたものの、原材料価格高騰の影響や労務費の増加などにより減益

➤ 2024年12月期 業績予想

- ・ 自動車生産の回復が進むことを主要因に増収 過去最高売上高を更新（初めて3,000億円超え）
- ・ 労務費増加、エネルギー・原材料価格高騰等の影響はあるものの、増収効果で営業利益は増益 経常利益以下は為替差益の減少により減益

➤ 株主還元

- ・ 2023年12月期は中間35円、期末45円、年間配当80円（前期比+35円、当初予想比+30円）
- ・ 2024年12月期の年間配当についても80円を予想

実績サマリー

- 国内外で自動車生産が緩やかに回復、円安効果も加わり増収 売上高は過去最高を記録
- エネルギー価格高騰、労務費増加等の影響はあったものの増収効果により、増益
- 特別損失として国内営業所の減損5億円を計上

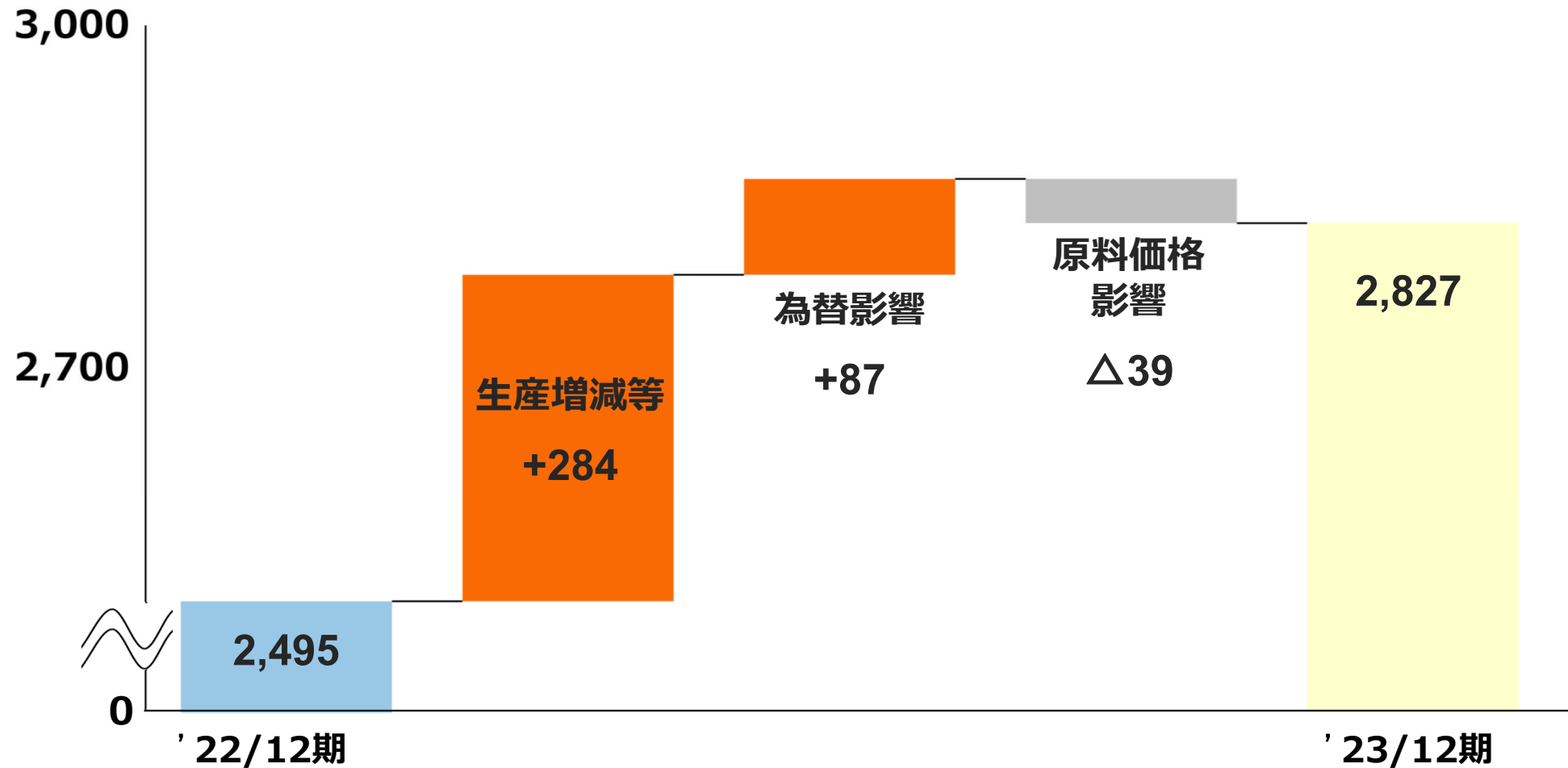
(単位：億円)

	'22/12期	'23/12期			
	実績	実績	前期差 (前期比)	業績予想 (7/20)	業績予想差 (業績予想比)
売上高	2,495	2,827	332 (13.3%)	2,700	127 (4.7%)
営業利益	70	122	52 (75.3%)	105	17 (16.2%)
経常利益	78	139	61 (77.9%)	120	19 (15.8%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	48	101	53 (111.4%)	84	17 (20.2%)

売上高増減要因

- ・ 国内外で自動車生産が回復し、ダイカスト生産量は3期連続で増加
- ・ 円安の影響により在外子会社の円換算額が増加

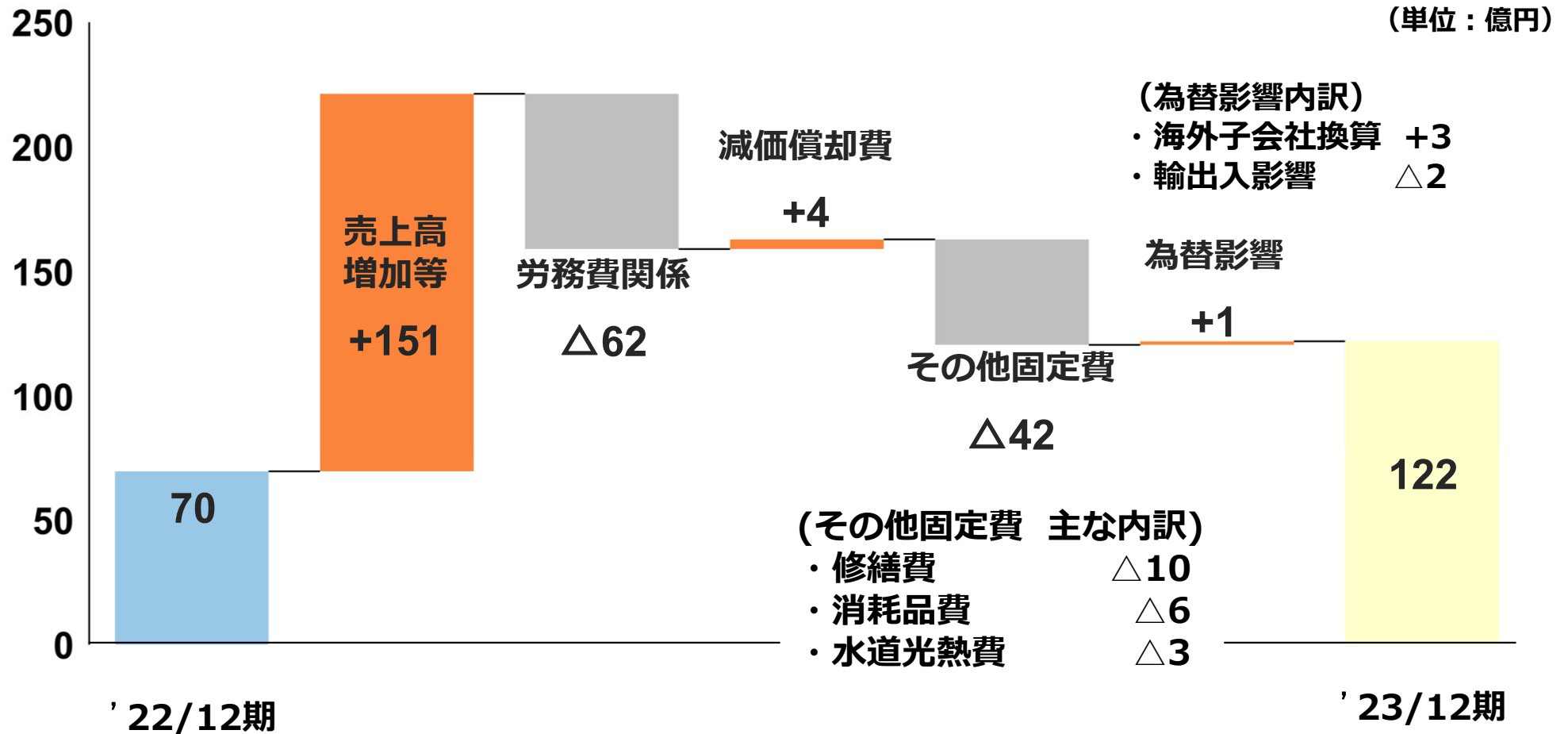
(単位：億円)



為替レート (期中平均)	米ドル	英ポンド	中国元	タイバーツ
'22/12期	130.52円	161.52円	19.40円	3.72円
'23/12期	140.69円	174.49円	19.83円	4.03円

営業利益増減要因

- ・ 国内外の自動車生産回復により生産量が増加、増収効果により増益
- ・ 国内外での賃金の上昇、海外人員増等により労務費が増加
- ・ 生産量増加に伴い修繕費等のその他固定費も増加



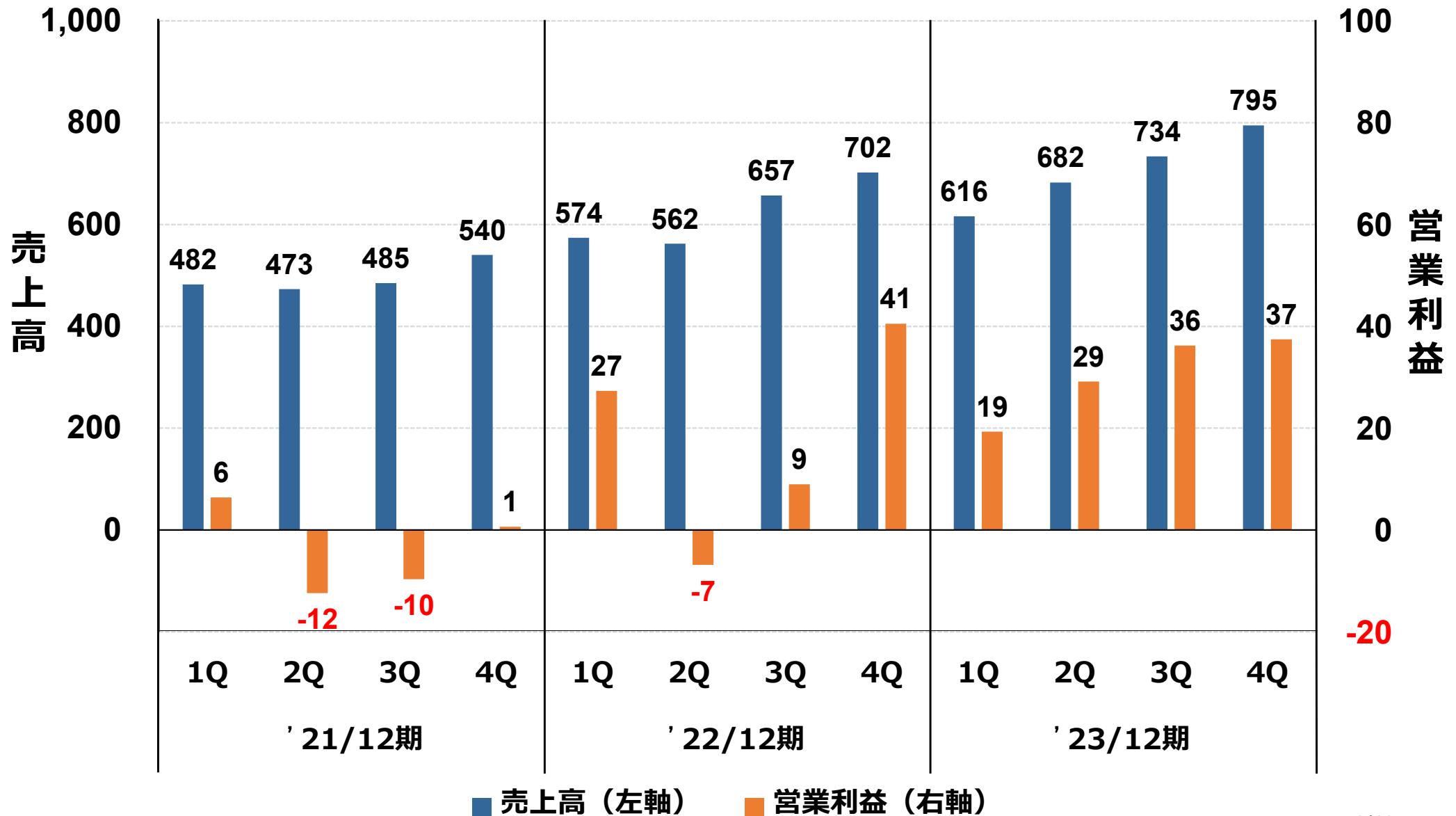
為替レート (期中平均)	米ドル	英ポンド	中国元	タイバーツ
'22/12期	130.52円	161.52円	19.40円	3.72円
'23/12期	140.69円	174.49円	19.83円	4.03円

売上高、営業利益の推移 連結

- COVID-19や半導体供給制約の影響から自動車生産の回復が進んだ
- 2022年第3四半期以降は増収効果で四半期での黒字計上が定着

(単位：億円)

(単位：億円)



セグメント別実績

- ダイカスト : 自動車生産の回復で増収増益 過去最高の売上高
 住建機器 : 国内外で増収 海外生産品の調達コスト上昇などにより減益
 印刷機器 : 国内外で増収 原材料価格高騰などの影響により減益

(単位：億円)

	'22/12期	'23/12期			
	実績	実績	前期差 (前期比)	業績予想 (7/20)	業績予想差 (業績予想比)
売上高	2,495	2,827	332 (13.3%)	2,700	127 (4.7%)
ダイカスト	2,157	2,476	318 (14.8%)	2,357	119 (5.0%)
住建機器	101	108	7 (6.7%)	110	△2 (△1.8%)
印刷機器	234	241	7 (2.9%)	233	8 (3.4%)
営業利益	70	122	52 (75.3%)	105	17 (16.2%)
ダイカスト	52	109	57 (108.6%)	95	14 (14.7%)
住建機器	2	2	△1 (△24.1%)	3	△1 (△42.7%)
印刷機器	15	11	△4 (△24.6%)	7	4 (62.3%)

貸借対照表

売上高増加に伴う売掛債権や棚卸資産の増加、投資有価証券の評価額増により、総資産は前期比186億円増加（うち為替影響は+86億円）

(単位：億円)

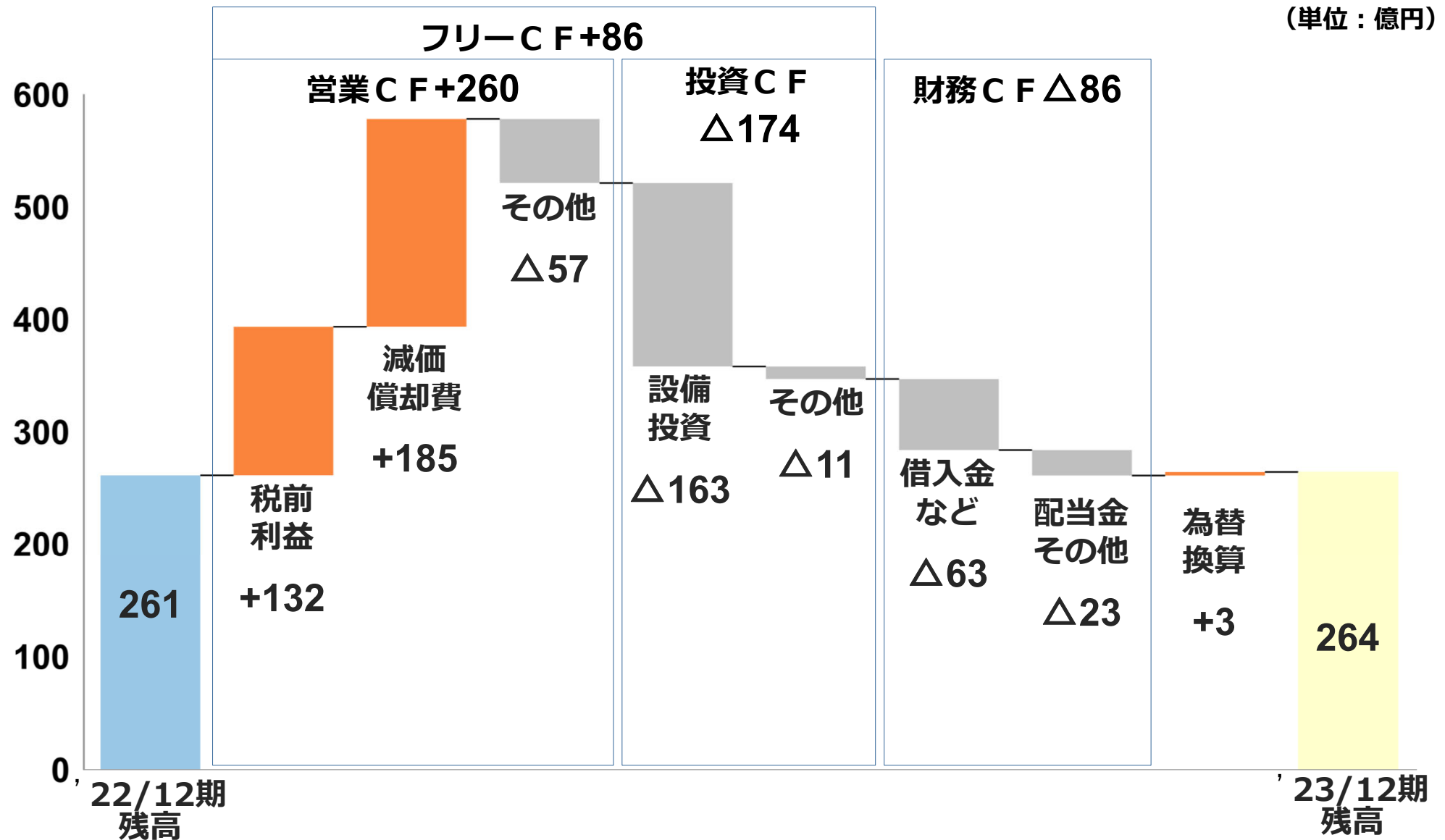
	'22/12期	'23/12期	増減	うち 為替影響		'22/12期	'23/12期	増減	うち 為替影響
流動資産	1,453	1,566	113	41	流動負債	1,147	1,179	32	29
現預金	273	276	3	5	仕入債務	465	509	44	8
売上債権	583	643	60	17	短期借入金	465	462	△3	16
有価証券	7	7	0	0	その他	217	208	△8	5
棚卸資産	555	599	45	18	固定負債	419	402	△17	5
その他	36	41	6	1	長期借入金	279	240	△39	4
固定資産	1,549	1,622	73	45	その他	140	162	22	1
有形固定資産	1,240	1,234	△5	44	株主資本	1,161	1,247	86	5
無形固定資産	28	26	△2	1	その他の包括利益 額	183	266	83	46
投資その他の資産	282	361	79	0	非支配株主持分	93	94	2	0
繰延資産	-	-	-	-	純資産合計	1,437	1,607	170	51
資産合計	3,003	3,188	186	86	負債・純資産合計	3,003	3,188	186	86

為替レート（期末日）

	米ドル	英ポンド	中国元	タイバーツ
'22/12期	132.70円	160.00円	19.01円	3.80円
'23/12期	141.83円	180.68円	19.93円	4.13円

キャッシュフロー増減

- ・ 営業CFのその他△57億円のうち、増収に伴う運転資本の増加で△35億円
- ・ 投資CFは営業CFの範囲内、更に資金効率化等による資金で借入金返済



2. 2024年12月期 業績予想

業績予想

- 自動車生産回復を主要因に増収 過去最高売上高を更新
- 増収効果で営業利益は増益を見込むが、為替差益減少等により経常利益以下は減益を予想

(単位：億円)

	' 23/12期	' 24/12期	
	実績	業績予想	前期差 (前期比)
売上高	2,827	3,050	223 (7.9%)
営業利益	122	130	8 (6.4%)
経常利益	139	128	△11 (△7.7%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	101	90	△11 (△11.0%)

セグメント別業績予想

ダイカスト：自動車生産の回復で過去最高の生産量となり増収増益を予想

住建機器：国内外ともに増収 増収効果により増益を予想

印刷機器：国内外ともに増収 原材料価格高騰や展示会費用の影響で減益を予想

(単位：億円)

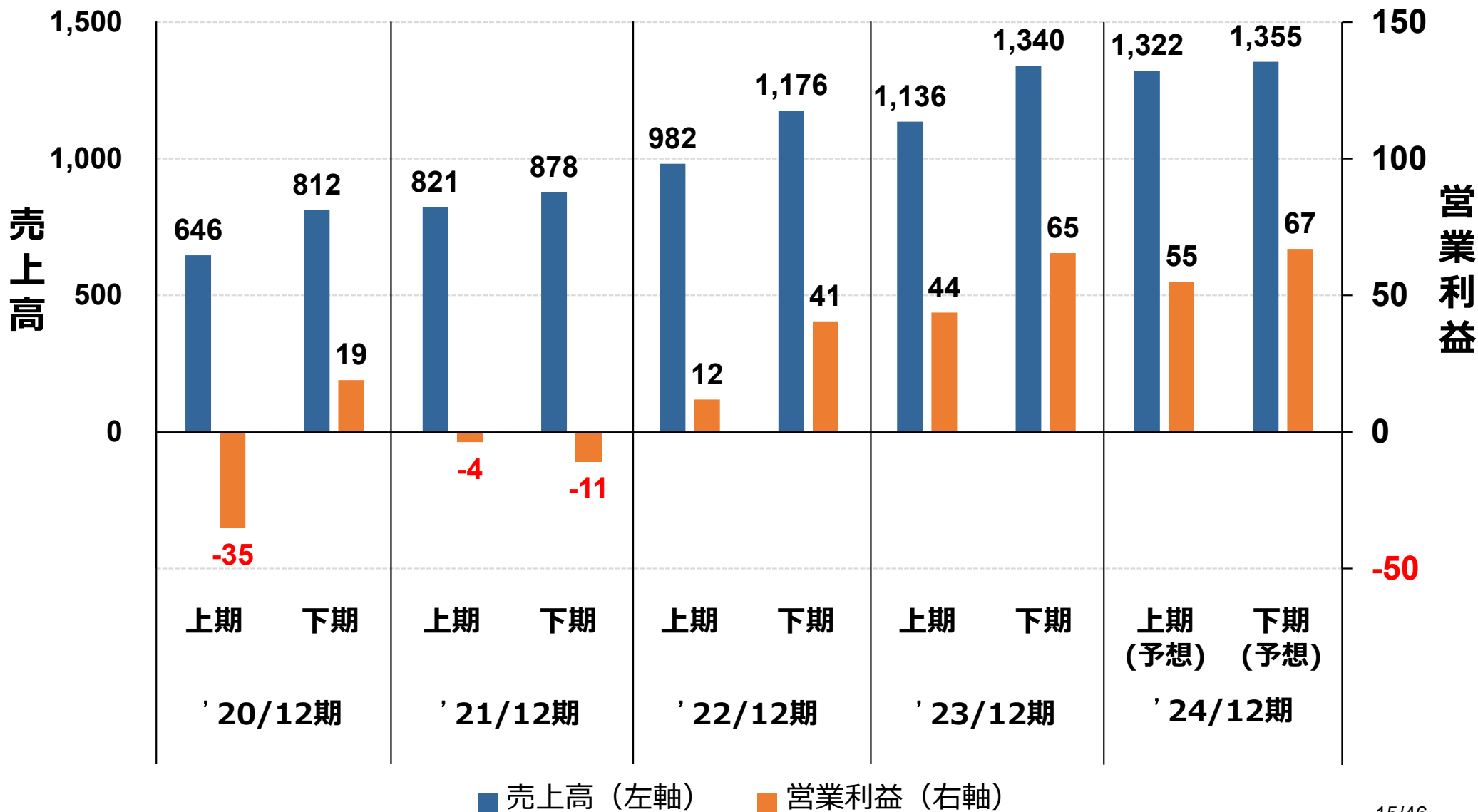
	' 23/12期	' 24/12期	
	実績	業績予想	前期差 (前期比)
売上高	2,827	3,050	223 (7.9%)
ダイカスト	2,476	2,677	201 (8.1%)
住建機器	108	110	2 (1.6%)
印刷機器	241	263	22 (9.2%)
営業利益	122	130	8 (6.4%)
ダイカスト	109	122	13 (11.8%)
住建機器	2	3	1 (74.3%)
印刷機器	11	5	△6 (56.0%)

売上高、営業利益の推移 ダイカスト事業

- 自動車生産の回復が進むことに伴い、通期で国内外ともに増収
- 新規品立上げ等も加わり、通期での生産量・売上高は過去最高を見込む

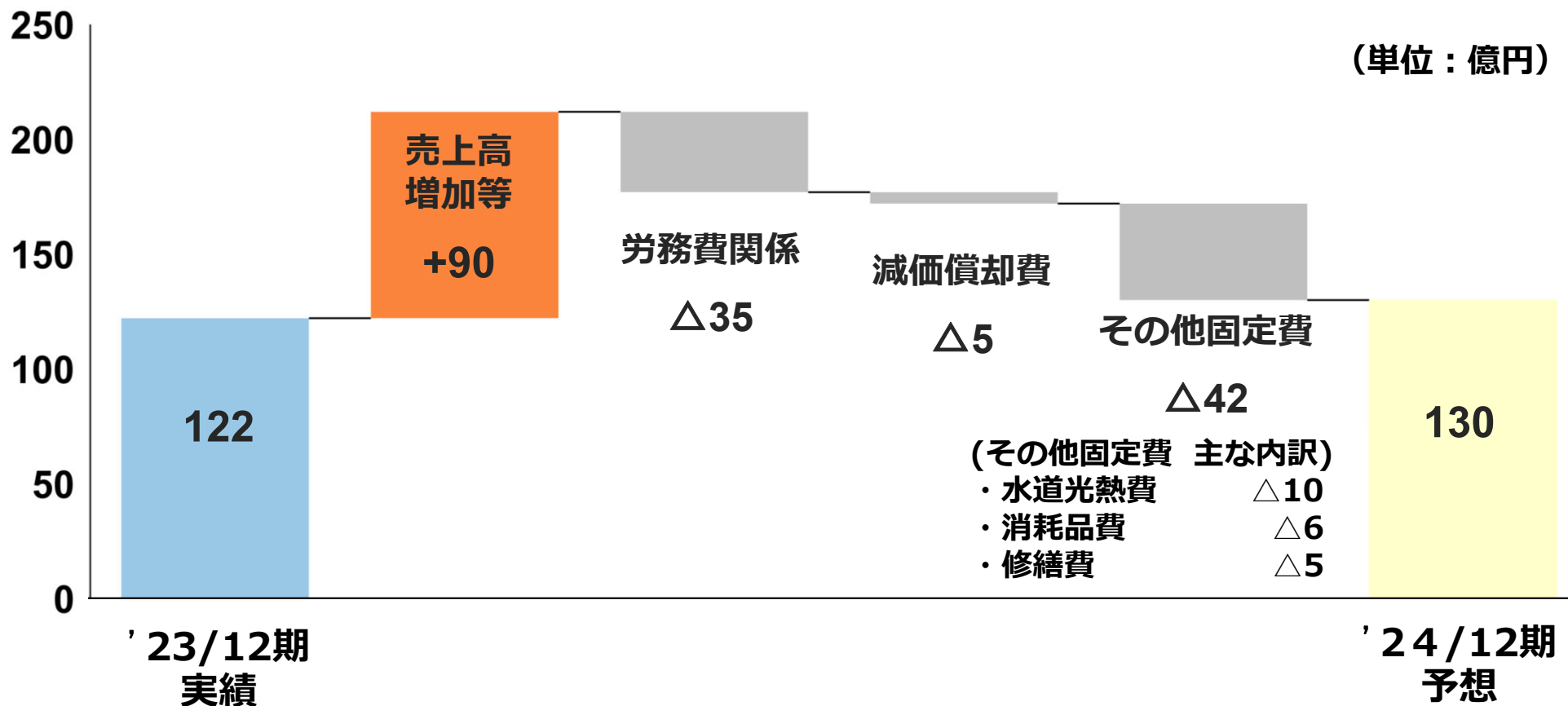
(単位：億円)

(単位：億円)



営業利益予想増減要因

- ・ 国内外で賃金上昇、海外人員増等により労務費が増加
- ・ 生産量増加に伴う準変動費増加でその他固定費も増加
- ・ 費用は増加するが、引続き原価低減、生産性向上に取組み増益を予想



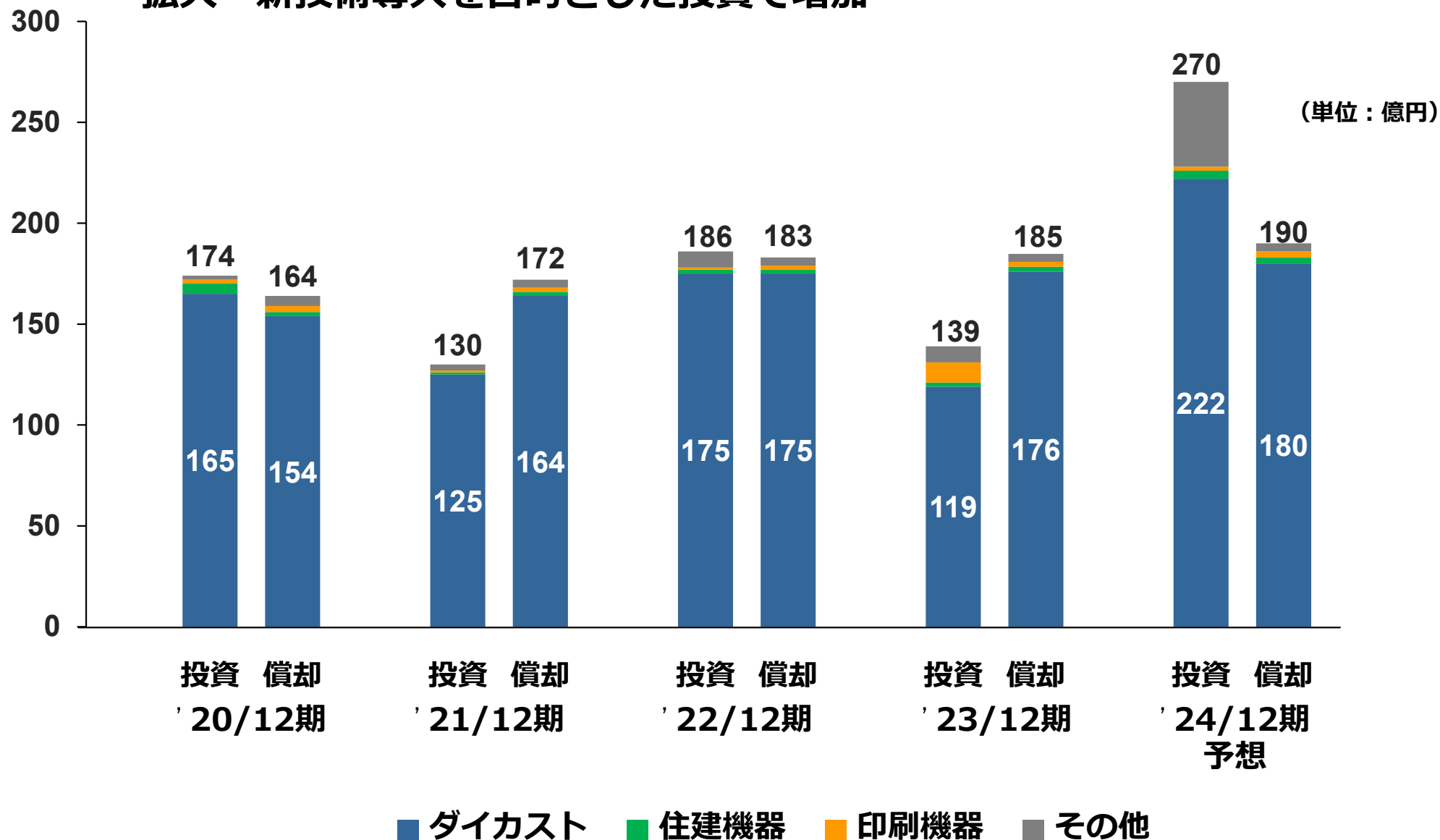
為替レート (期中平均)	米ドル	英ポンド	中国元	タイバーツ
'23/12期	140.69円	174.49円	19.83円	4.03円
'24/12期 (予想)	140円	180円	19.5円	4.0円

為替1%変動 (円高) 時の
年間営業利益への影響額

米ドル	Δ50百万円
英ポンド	Δ10百万円
中国元	+20百万円
タイバーツ	Δ10百万円

設備投資・減価償却費推移

- 2024年12月期の、投資は270億円、償却費は190億円を予想
- 国内（超大型鋳造機設備関連・新館建設等）、海外ともに生産能力拡大・新技術導入を目的とした投資で増加

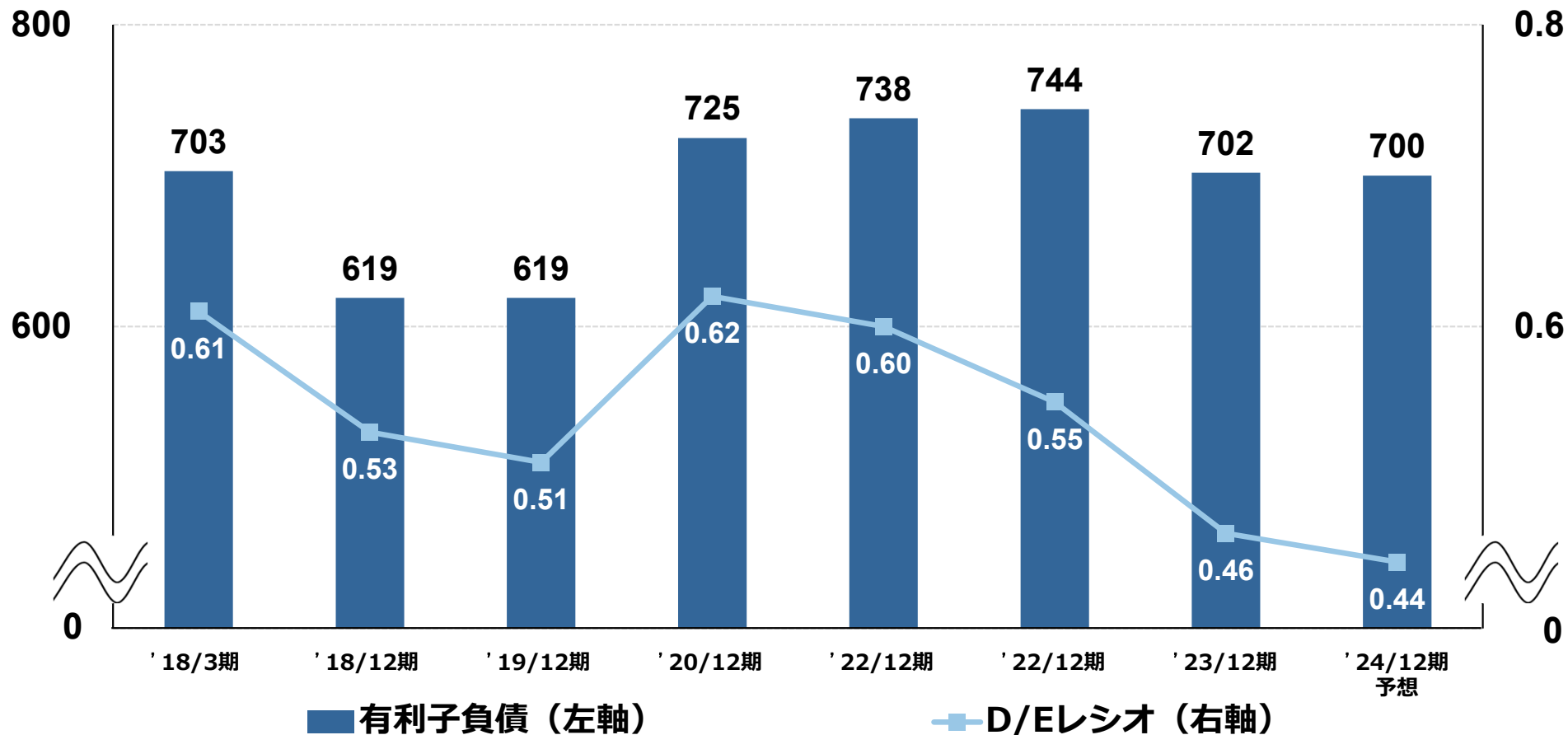


有利子負債・D/Eレシオ推移

- 2024年12月末の有利子負債残高は、700億円を予想
- 投資支出に対し資金効率化等で有利子負債増加を抑制

(単位：億円)

(単位：倍)



借入金依存度
(有利子負債/総資産)

	'18/3期	'18/12期	'19/12期	'20/12期	'21/12期	'22/12期	'23/12期	'24/12期 予想
借入金依存度 (有利子負債/総資産)	25.8%	23.0%	23.5%	28.0%	26.4%	24.8%	22.0%	21.4%

3. 事業別状況・トピックス

ダイカスト事業

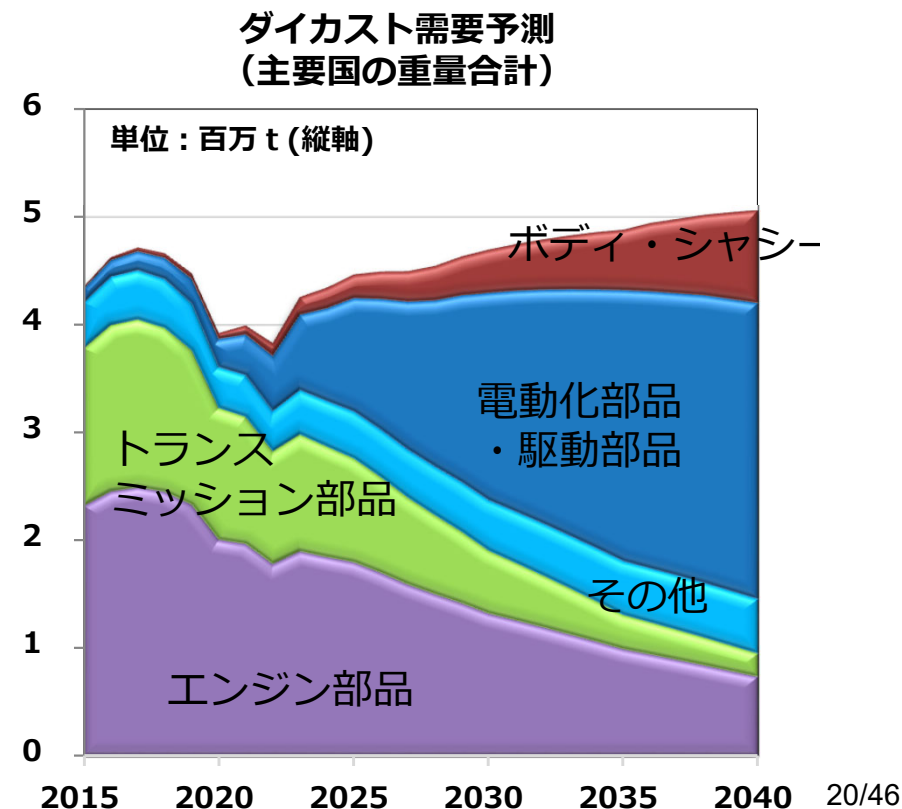
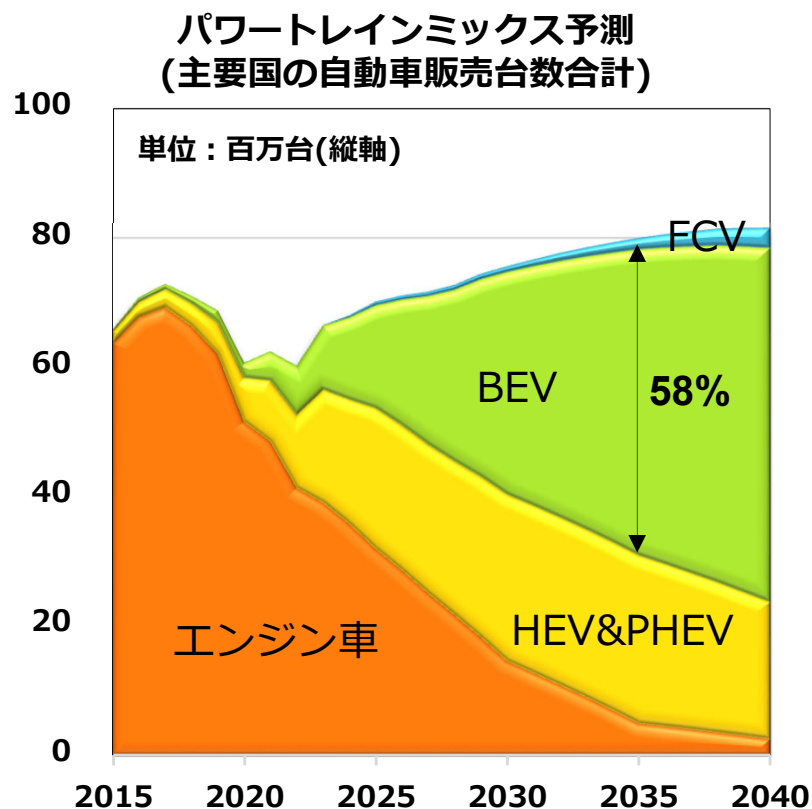
軽量化・電動化への取組み -ダイカスト事業の外部環境-

- 2040年頃までは自動車販売台数は増加
- BEVシフトは着実な進展(2035年BEV比率58% 2022年10月時点予測54%)
- 一方、欧州でエンジン車販売禁止延期の動き等、現実的な移行を模索
- 2030年代もHEVは大きな存在感
- 大型ダイカスト品の仕事量は増加傾向
- ボディ・シャシー、電動化部品が増加し、ダイカスト全体の需要は増加

販売台数ベース

主要国：日本、欧州、米国、中国、インド

2023年10月時点当社予測



ダイカスト事業

成長戦略の骨子

(マーケット環境)

- ・ 将来的にICE部品は減少が見込まれるが、短期的にはICE車向け部品の需要は依然堅調
- ・ 新規での軽量化・電動化部品の受注が拡大しており、ダイカスト需要は増加
- ・ ウクライナ情勢など不確実な状況は続いたが、世界の自動車生産は回復
- ・ 大型構造部品の一体成型によるコストダウンやCO₂排出量削減ニーズが将来に向け拡大



(当社の成長戦略)

- ・ 自動車の軽量化・電動化への対応
車体軽量化のためのボディ・シャシー部品、eアクスルケース、バッテリーケースなどの電動化部品の販売を拡大
- ・ 高品質な製品の提供
グローバルな自動車メーカーのニーズに対応できる開発、供給体制のさらなる整備
新規品の開発、提案により当社製品の採用拡大を図る
- ・ 最適なサプライチェーンの構築
取引先との良好な関係の維持・向上、安定供給体制の確立
- ・ 自動車の大型構造部品への取組み
将来的なニーズに対応するため、大型構造部品技術の確立と革新的生産方法の構築

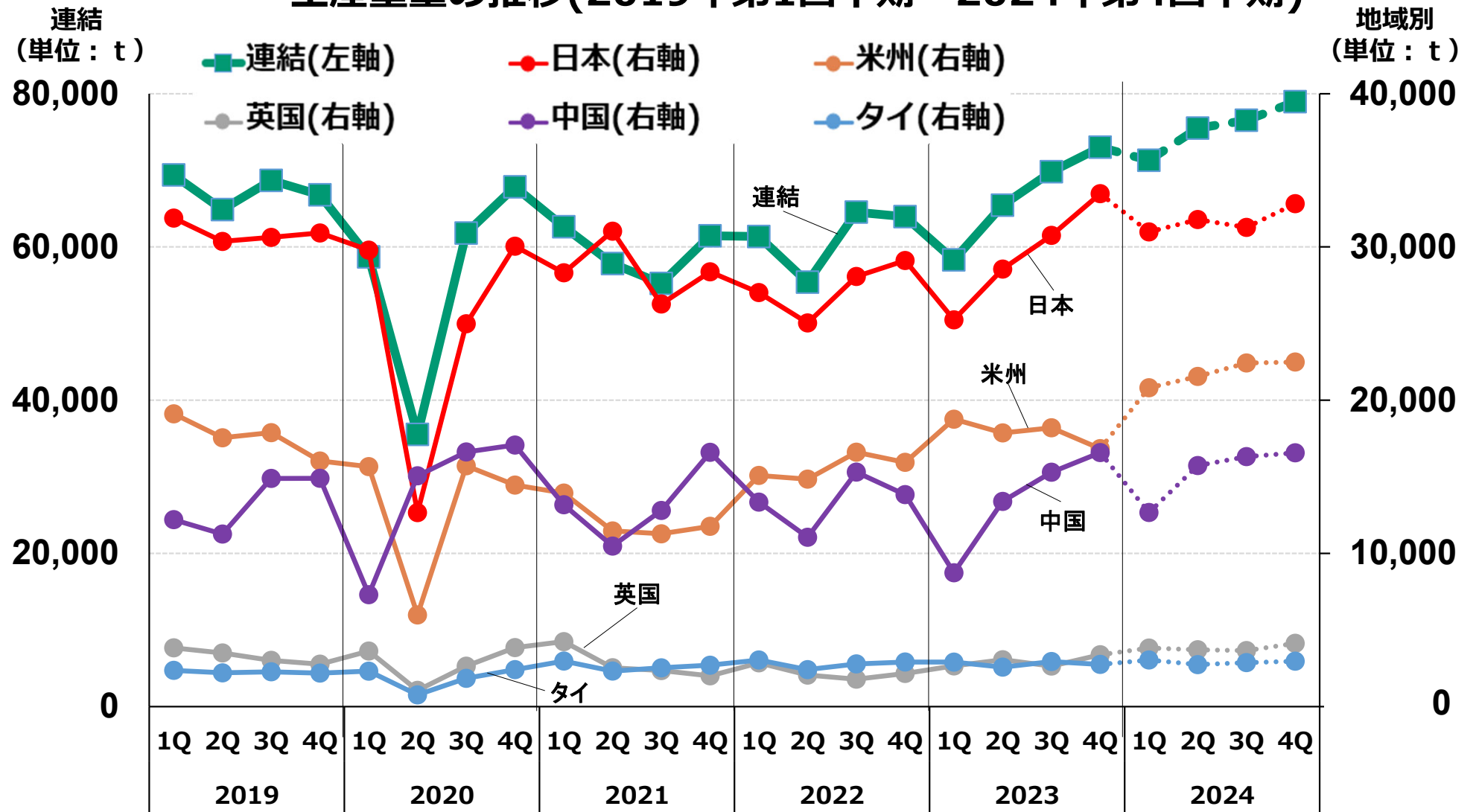


グローバルで自動車メーカーからの信頼を維持拡大し、当社事業拡大を目指す

ダイカスト生産重量の推移

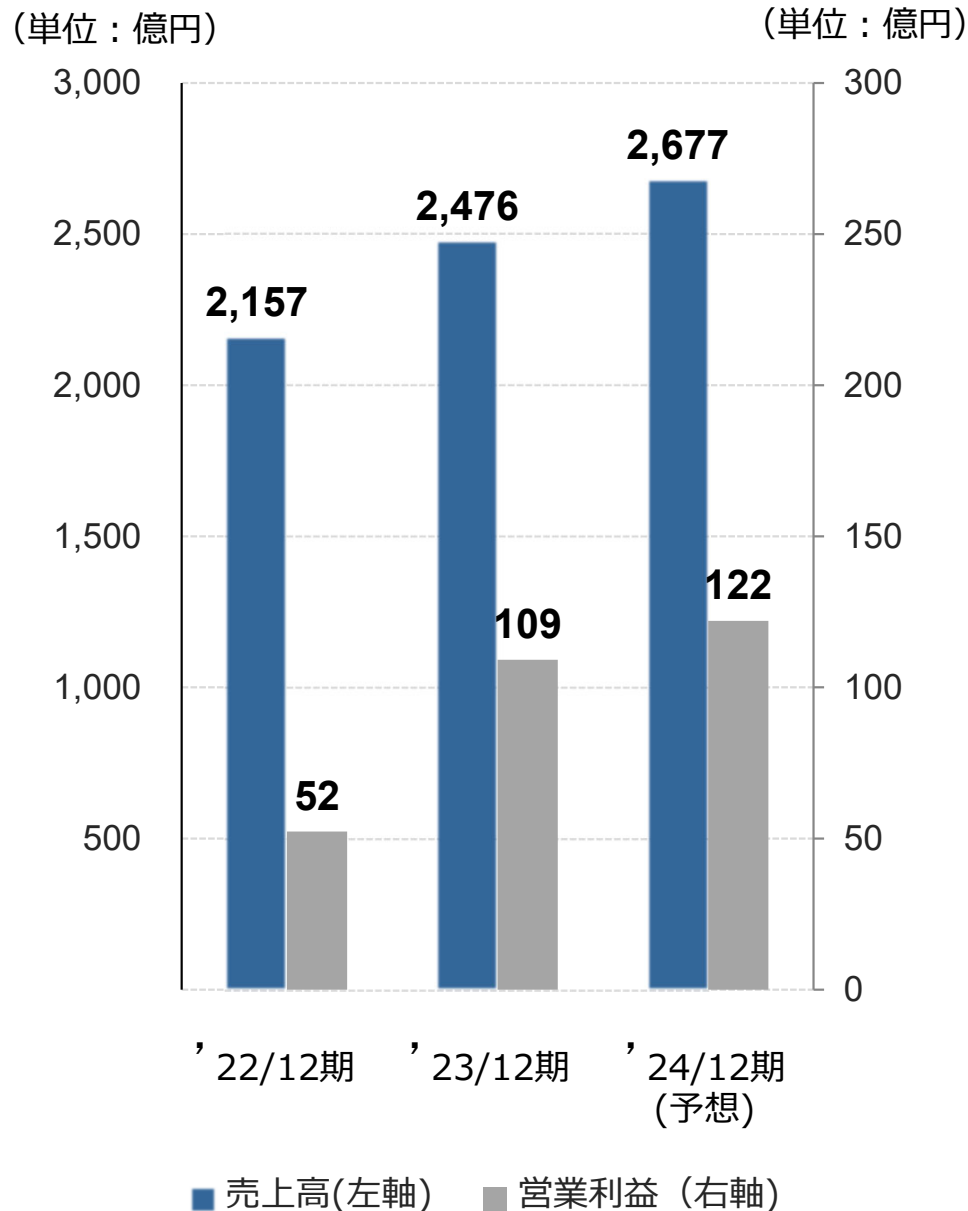
- 2024年12月期は全ての地域において前年比増加
- 過去最高の生産重量となり、年間300,000t（連結）を超える見込み

生産重量の推移(2019年第1四半期～2024年第4四半期)



※実線部は実績、破線部は予想を示す

売上高・営業利益の見通し



'24/12期 地域別状況

(日本)
半導体等の部品不足はほぼ解消し、自動車生産は回復傾向

(米州)
労務費負担の増加はあるが、生産量増加、新規品立上げにより増収増益

(英国)
新規品立上げの遅れはあるが欧州での自動車販売の回復に伴う生産量増加で増収 黒字化

(中国)
中資系自動車メーカーの躍進で日系・欧米系自動車メーカー苦戦も新規品立上げで増収
プライスダウン要求の強まり、労務費増で減益

(単位：億円)

売上高	'22/12期	'23/12期	'24/12期 (予想)
日本	930	1020	1095
米州	582	741	827
英国	130	166	191
中国	426	448	460
タイ	89	100	104

ダイカスト事業

軽量化・電動化への取組み -EUROGUSS2024に出展-

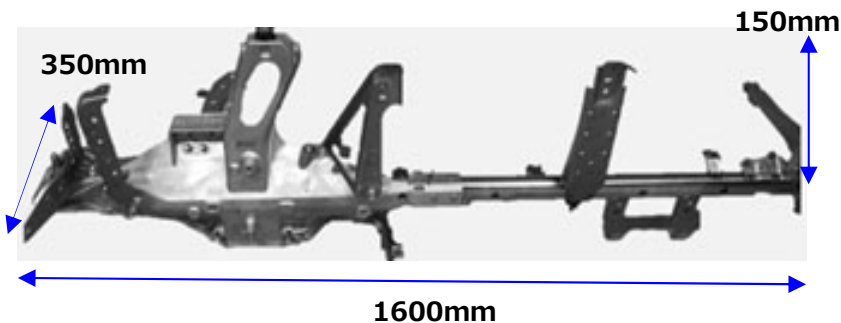
- ・ 「EUROGUSS2024」 2024年1月16日～18日 ドイツ ニュルンベルクで開催
- ・ 電動車向けのアルミダイカスト製品や開発中の最新技術を参考出品
- ・ 自動車の軽量化に貢献するさまざまな提案を実施

主な展示内容

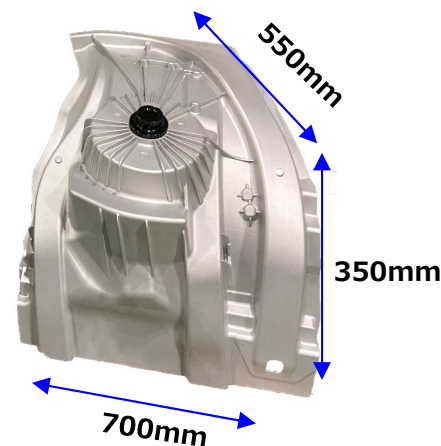
- ・ 剛性向上や軽量化に貢献するボディ・シャシー部品
(ステアリングサポート・ショックタワーなど)
- ・ レーザー溶接などの接合技術を使った電動車
向け開発品
(バッテリーケースなど)



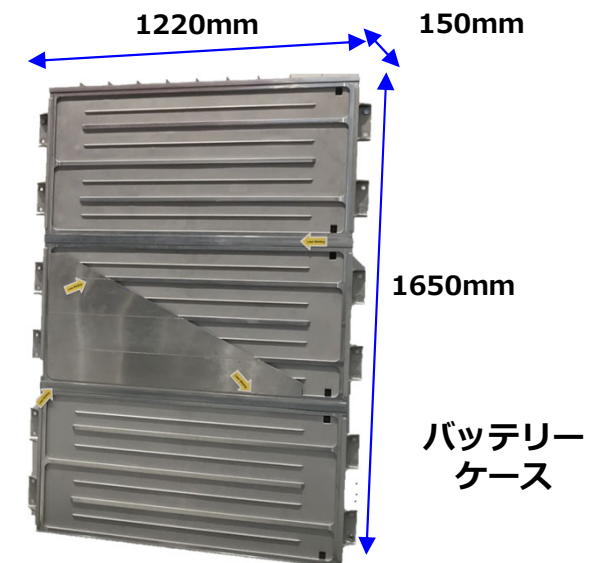
展示例



ステアリングサポート



ショックタワー

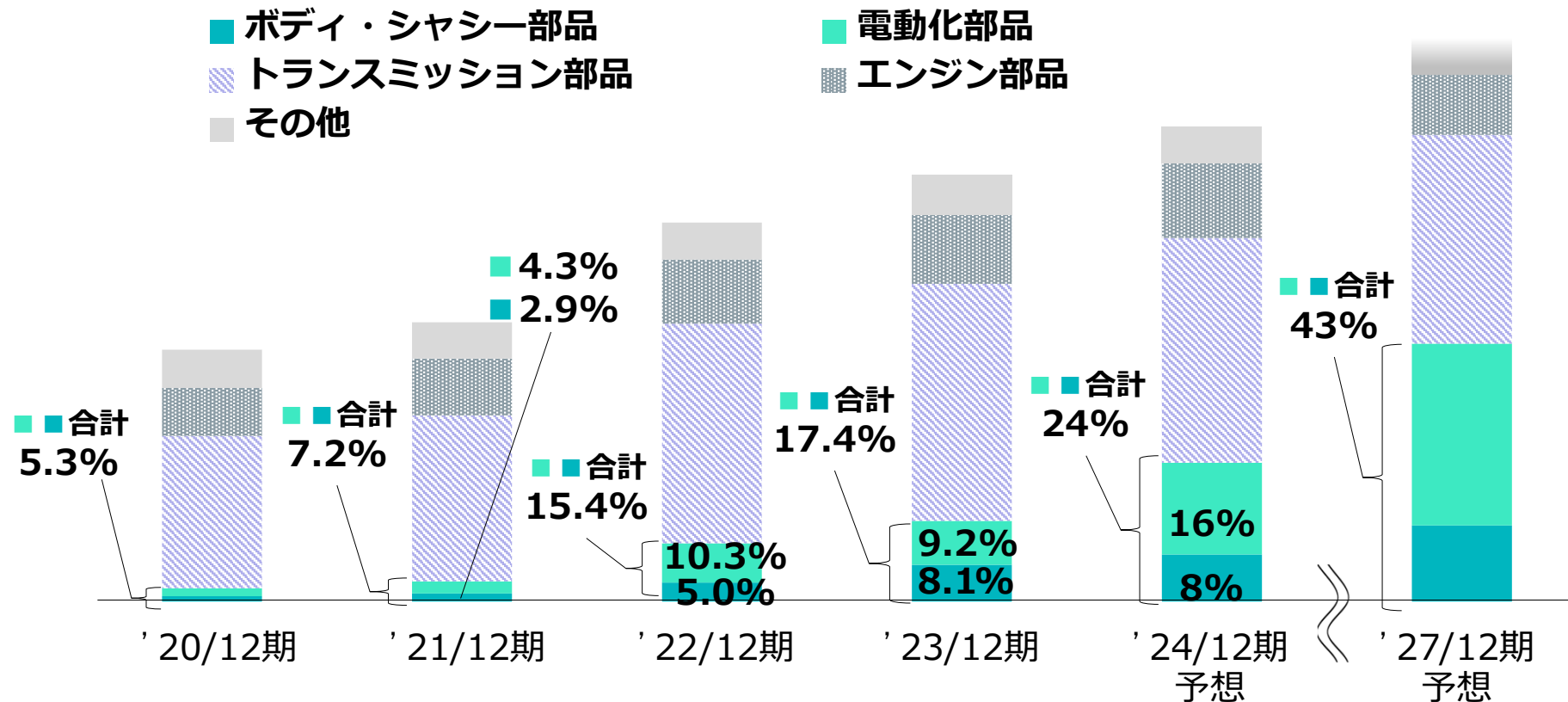


ダイカスト事業

軽量化・電動化への取組み -戦略製品の売上高・構成比-

- ・ 電動化・ボディ・シャシー部品の売上は堅調に増加
- ・ 2027年には売上高構成比の43%に拡大と予想
- ・ 新規受注（2023年実績）のうち約86%が電動化・ボディ・シャシー部品
（2020年実績38%、2021年実績55%、2022年実績77%）


部品カテゴリーごとの売上高・構成比



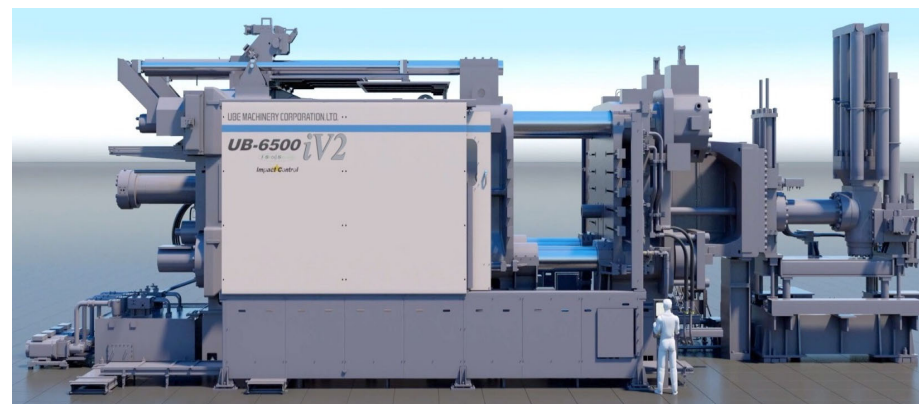
ダイカスト事業

軽量化・電動化への取組み -自動車的大型構造部品への取組-

- 大型構造部品に対する市場動向、ニーズの高まり
- 専門のトップダイカスターとして、自動車メーカーの内製に勝る製造技術・金型技術を提供することが、当社の企業価値向上に繋がる

- 
- 大型構造部品の試作サービス開始(2025年3月予定) に向け、超大型 鋳造機導入を決定(2023年7月)
 - 投資総額：約50億円 設置場所：菊川工場敷地内(静岡県菊川市)
 - UBEマシナリー社製 型締力6,500トン鋳造機を発注(2023年9月)
 - 工場建屋新設着工(2024年4月予定)
 - 金型工場を併設し、短納期での試作対応を目指す

想定される試作品
バッテリーケース、
フロント/リアアンダーボディ



超大型鋳造機のイメージ図

ダイカスト事業

軽量化・電動化への取組み -自動車の大規模構造部品への取組み-

- ・ 大型構造部品にはメリットがある一方で解決すべき課題も多くある
- ・ 試作サービスを行いつつ、技術の蓄積、課題の解決を図る

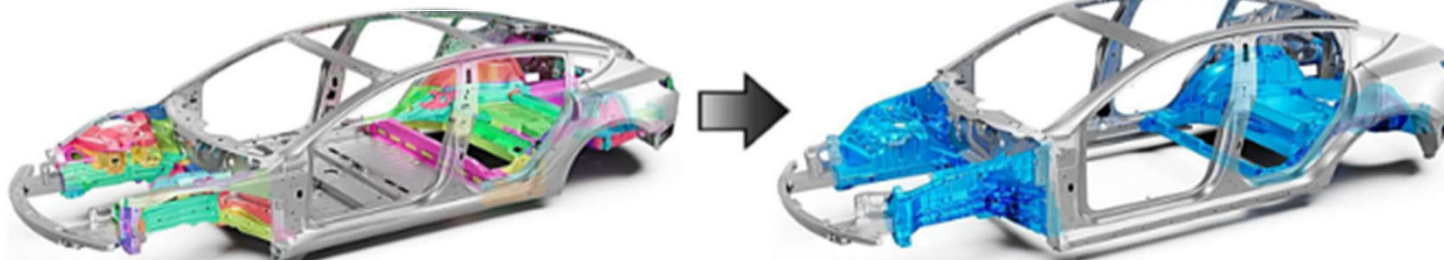
メリット

- ✓ 生産効率向上・工程数削減によるコストダウン
- ✓ 軽量化・サステナビリティへの貢献
- ✓ 大型構造部品に対する市場ニーズの取込み

課題

- ✓ 初期投資を回収するための高度な生産性の確保
- ✓ 大型部品輸送への対応
- ✓ 生産条件の管理・安定化
(アルミ充填を短時間・高精度で再現)
- ✓ 構内スペースの確保、搬送の自動化
- ✓ 大型金型の製造と取り扱い

大型構造部品による部品点数削減イメージ



既存の製造方法
多くの部品で構成

大型構造部品
数点の部品で構成

住建機器事業

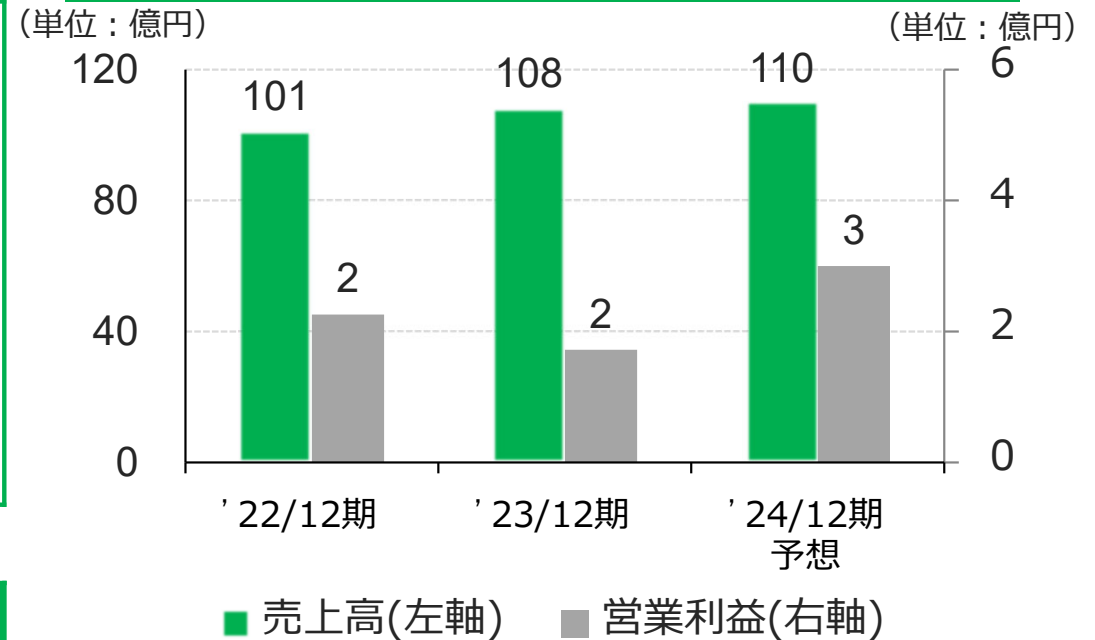
事業環境

- 国内は住宅市場、ビル（非居住）市場は、ほぼ横ばい
- 人民元高による調達コスト上昇
- 住環境における非接触需要の高まり
- 国内におけるリフォーム・リノベーション需要の高まり

主要な取組み

- 国内市場での収益性改善
- 高付加価値製品（次世代の主力製品）の売上拡大
- 海外市場での売上高拡大
- 不具合品の未然防止と品質安定化の推進

売上高・営業利益の見通し



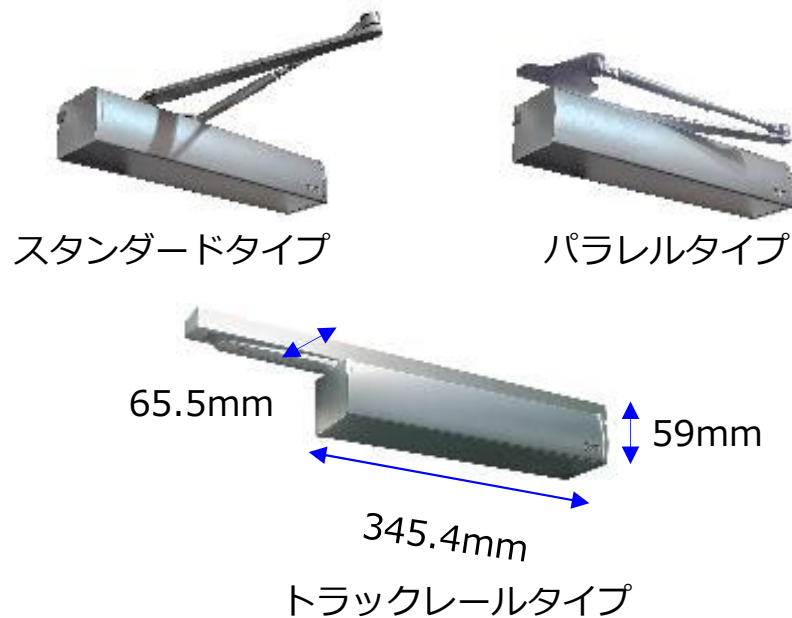
業績概要

- ('23/12期 実績)
売上高は国内外ともに増収 損益は海外生産製品の調達コストの上昇や労務費の増加などにより減益
- ('24/12期 予想)
売上高は国内外ともに増収 損益は増収による増益を予想

住建機器事業

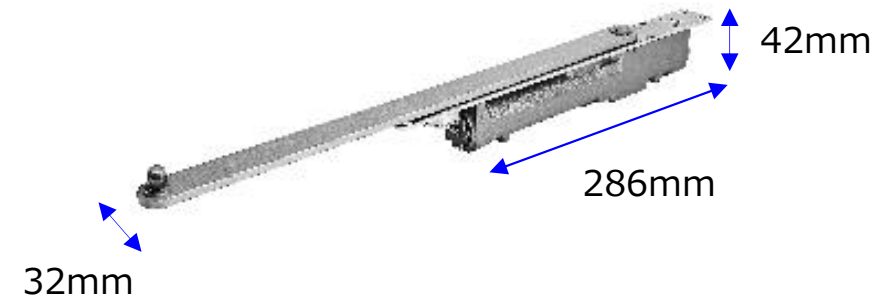
住建機器事業のトピックス

電動式ドア開閉装置 RUCAD 新モデル RU-020の発売



- ✓ 非常電源付きの仕様で、停電時にも自閉が可能
- ✓ ドア重量の適用域を拡大し、より大型のドアへ対応が可能
- ✓ 3タイプの取付バリエーションにより、様々な住空間に対応

フラッグシップモデル ジオプロシリーズ GCC-4V 発売



- ✓ 大型ビルなどで広く採用されているコンシールドドアクローザの新商品
- ✓ 従来品よりもボディがコンパクト
- ✓ ドア内部の格納スペースが小さなドアにも取り付けが可能

印刷機器事業

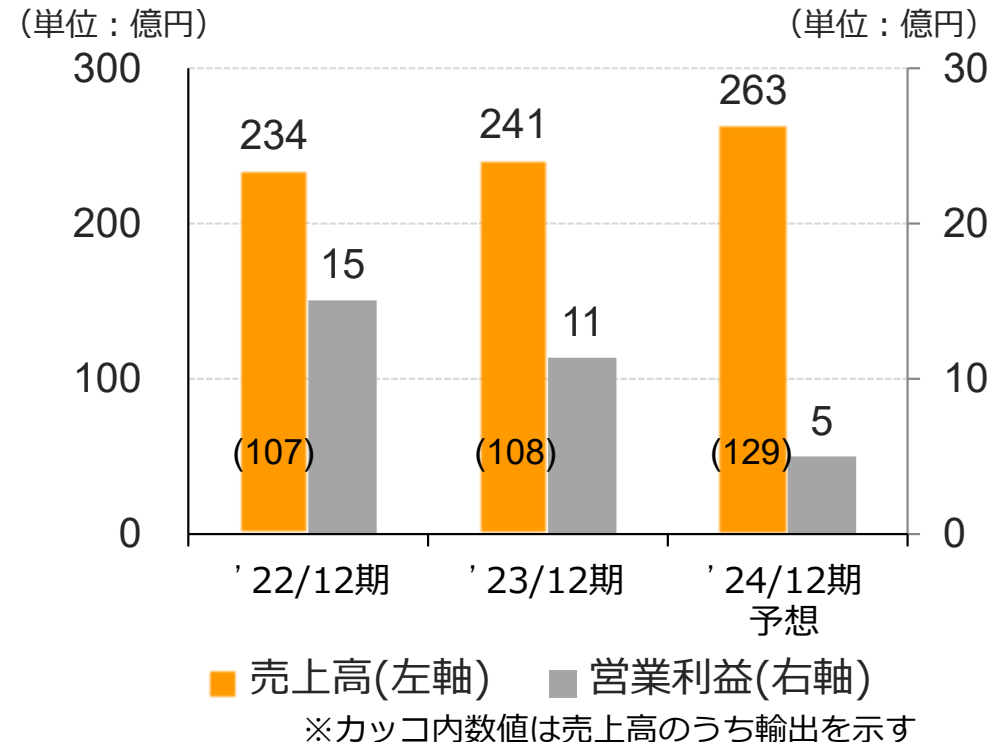
事業環境

- 印刷機オペレーターの人員不足や高齢化による自動化・省力化の要求
- 商品パッケージ（包装）印刷は堅調
- 調達品の価格高騰継続
- 紙の供給量と価格高騰による印刷離れ
- リーマンショック・コロナ禍を経てオフセット印刷機器製造メーカーの淘汰が進展

主要な取組み

- 印刷関係企業とのアライアンスを通じた参加企業との協業や新規事業
- 印刷機の自動化・省力化・アシスト機能の開発
- 新商品970モデルの販売拡大
- 商品パッケージ印刷用機種の販売強化
- 原材料価格高騰の売価への転嫁

売上高・営業利益の見通し



業績概要

- ('23/12期 実績)
売上高は、国内外ともに増収。損益は、原材料価格高騰の影響や労務費の増加により減益
- ('24/12期 予想)
売上高は、国内外ともに増収。損益は、増収の効果はあるが、原材料価格高騰の影響や展示会費用の発生などにより減益を予想

印刷機器事業

印刷機器事業のトピックス

第3工場の竣工



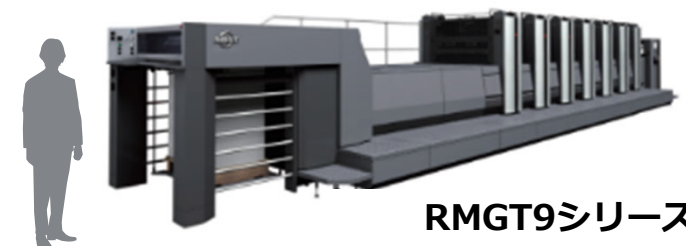
2023年11月、第3工場が完成し、生産を開始。点在していた工場を集約し、生産体制の最適化や生産性の向上を図る

- 所在地 : 広島県府中市
- 施設用途 : 枚葉オフセット印刷機の組み立て
- 延床面積 : 4.4千m²
(延床面積 第1工場 : 10.0千m²、第2工場 : 19.3千m²)

パッケージ印刷市場向けに 新装置などを投入



RMGT10シリーズ



RMGT9シリーズ

主力機種で、新仕様・装置を投入

- ✓ RMGT9シリーズ
低コストで高品質な厚紙印刷を実現する新仕様を追加
- ✓ RMGT10シリーズ
作業員の負荷軽減に貢献する装置を追加

4.サステナビリティ / ESG

サステナビリティ / ESG

環境への取り組み

CO₂排出量削減目標

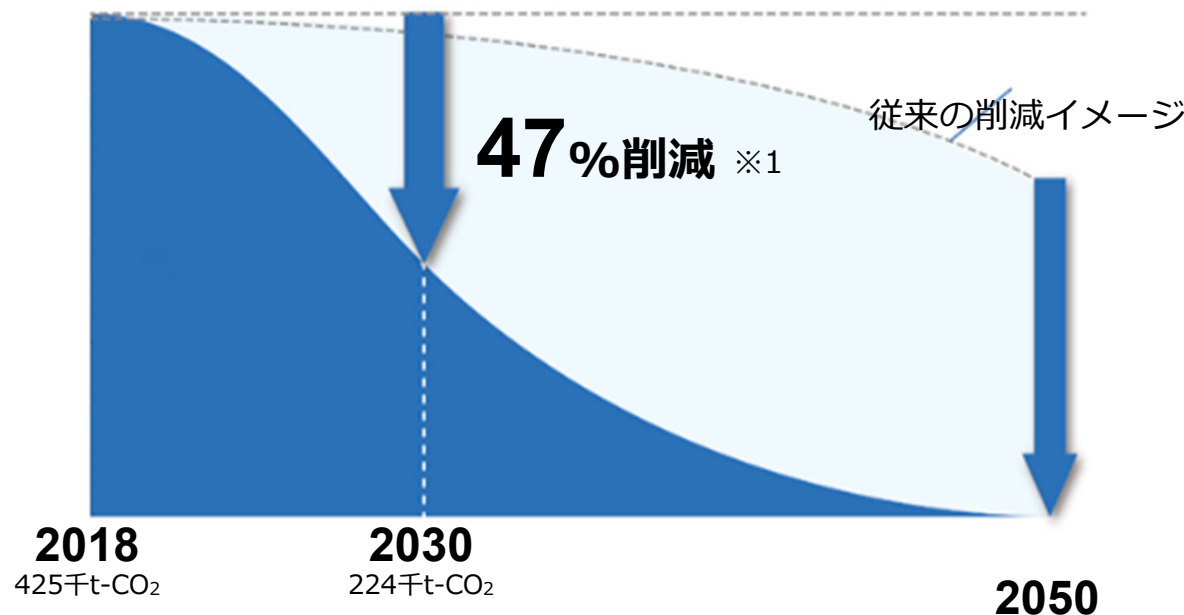
2050年までにカーボンニュートラルを達成する

2030年までにCO₂排出量を2018年度比で47%以上削減する(国内・海外とも)※1

2023年の取り組み

- ・ 投資判断の1つの基準として、インターナルカーボンプライシング制度(※2)を導入
- ・ 省エネルギー設備の導入や社員一人ひとりの意識改革を推進

2050年に向けたCO₂排出量削減目標



カーボンニュートラルに向けた主な施策

- ・ 省エネルギー設備の導入促進
- ・ 再生可能エネルギーの利用
(太陽光、水力など)
- ・ アルミ合金溶解時の燃焼プロセス制御
- ・ 非化石エネルギーへの転換
(水素やアンモニア等)

※1 CO₂排出量は、Scope1とScope2の絶対量

※2 CO₂排出削減量を社内炭素価格の適用により費用換算し、投資判断などに活用する制度

サステナビリティ / ESG

サステナビリティのトピックス

生物多様性教育(S)

以下の目的でアユの放流体験を実施

- 生物多様性の保全に貢献する
- 次世代を担う子供達の動植物を慈しむ環境意識を育む

人的資本への投資(S)

- 学習マネジメントシステムを構築し、マイクロラーニング実施により、職場教育支援体制を強化
- 「心とからだの健康推進部会」を設置し、社員の健康保持増進に取組み
- 保険指導や生活習慣改善への取組等により健康経営優良法人を受賞
(4年連続4度目)



取引適正化の取り組み(S)

- 「パートナーシップ構築宣言」に基づき取引適正化の取り組みを積極的に推進
- 支払条件の短縮を段階的に実施
 - 労務費の適切な価格転嫁への協議を開始



5. 財務戰略

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

現状分析

- 2018年の一期間を除き、PBRは長期に1倍割れが継続
- 資本収益性（ROE5%程度）が資本コスト（株主資本コスト8-9%程度）を下回っていること（エクイティ・スプレッドがマイナス）は一因である
- 株価は自社でコントロールできないが、市場の評価を認識し、当社の事業や成長性、将来性を示し、改善の施策を実行していくことが必要（中計は非開示となっている）

改善に向けた方針

ダイカスト事業をコアビジネスとし、継続して将来の成長分野への投資を行い、収益力の強化を図ると共に、企業価値向上に向けた中長期の事業戦略を立案し、具体的な取り組みを推進・開示し、当社の株価に対する市場評価の改善を図る

$$\text{PBR} = \text{ROE} \times \text{PER}$$

ROE向上のための施策

収益力の強化

- 成長分野への投資を継続し、戦略製品（電動化・軽量化）の受注拡大を図る
- また、生産性向上による原価低減を行い、利益の最大化

資産の効率化と財務戦略の推進

- 政策保有株式の縮減 定期的な保有適否の検証と計画的な売却
- 安定的な株主還元 配当性向30%を目途とした、安定的な株主還元の継続
- 社員の能力、働きがい向上に向けた人的資本投資の強化

PER向上のための施策

I R活動の充実

- 中期経営計画、KPIの開示
2025年中期経営計画を2025年初旬に開示予定
- 株主、投資家との積極的な対話推進
- I Rイベント（工場見学等）や資料の充実（リサーチレポートや英文開示等）

IR活動の状況（2023年1月～12月）

面談等の状況

- ・ 決算説明会 2回
- ・ 機関投資家/アナリストとの対話 151回 (延数)
- ・ 工場見学会 1回
- ・ スモールミーティング 3回 (参加総数73名)

主な対応者

決算説明会	代表取締役社長、執行役員経営企画本部長、執行役員財務部長
投資家面談	執行役員財務部長、財務部副部長
スモールミーティング	執行役員財務部長、財務部副部長
工場見学会	広島工場長、研究開発部部長、グループ会社社長・工場長

主なテーマや株主の関心事項

- ・ ダイカスト事業における自動車生産の回復状況、地域別生産動向
- ・ 自動車の電動化に向けた当社の戦略と取組み
- ・ エネルギーコストや材料費上昇の事業への影響
- ・ 自動車部品の大型化に向けた動きと当社の戦略・取組み
- ・ 為替変動に対する事業への影響
- ・ PBR1倍への対応
- ・ 株主還元方針
- ・ 政策保有株式の縮減に対する考え方

経営陣へのフィードバック

	頻度	内容
投資家・アナリストのコメント	半期ごと	個別面談等での投資家・アナリストのコメントを集約し、取締役会にて報告
アナリストレポート	都度	証券会社が発行するアナリストレポートをメールにて報告
株価情報	月次	市況、当社株価推移、出来高等の分析をメールにて報告

株主・投資家との対話の成果

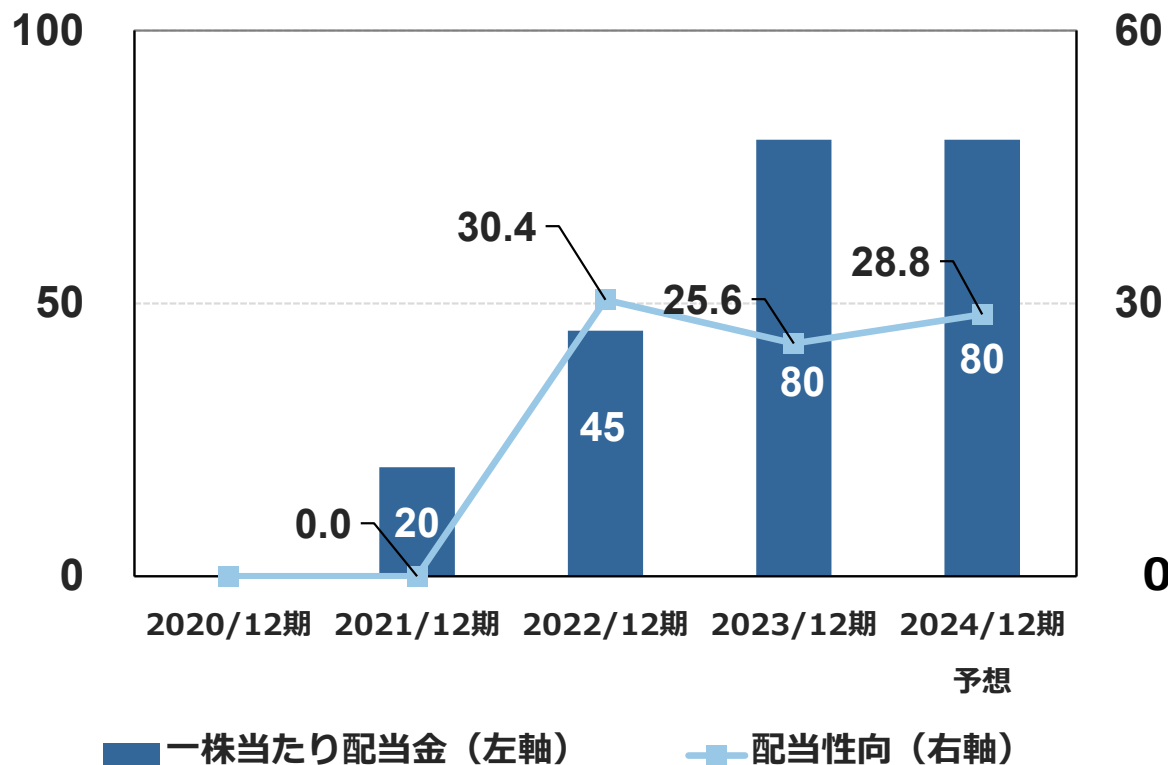
要望	・ ダイカストの電動化・軽量化部品の需要動向をわかりやすく示してほしい
対応	・ 決算説明会資料に年度別需要動向予想を数値を用いて説明
要望	・ 工場見学会を企画してほしい
対応	・ 2023年秋に実施
要望	・ 第1/第3四半期でも決算概要について説明する資料があるとよい
対応	・ 2023年第3四半期から資料をHP開示

株主還元

一株当たり配当金・配当性向の推移

(単位：円)

(単位：%)



配当政策

- 中長期的に連結業績の向上を図り、成長投資と株主の皆様への安定した利益還元の維持を基本とする
- 安定的な配当継続に加え、配当性向30%程度を目安とし、諸条件を勘案の上決定する

配当の状況

- 2023/12期については、当期の業績及び財務状況等を勘案し、予想比+30円増配（年間80円 前期比+35円）
- 2024/12期は、年間80円の配当を予想

	2020/12期	2021/12期	2022/12期	2023/12期	2024/12期 (予想)
一株当たり配当金(円)	0	20	45	80	80
配当性向 (%)	-	-	30.4	25.6	28.8

将来予測に関する注意事項

当資料には、当社の計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が含まれています。

これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、これにはリスクおよび不確実な要素が含まれています。

当社の実際の行為、業績は、経済情勢、事業環境、需要動向、為替動向等により、将来予想とは異なる可能性があります。

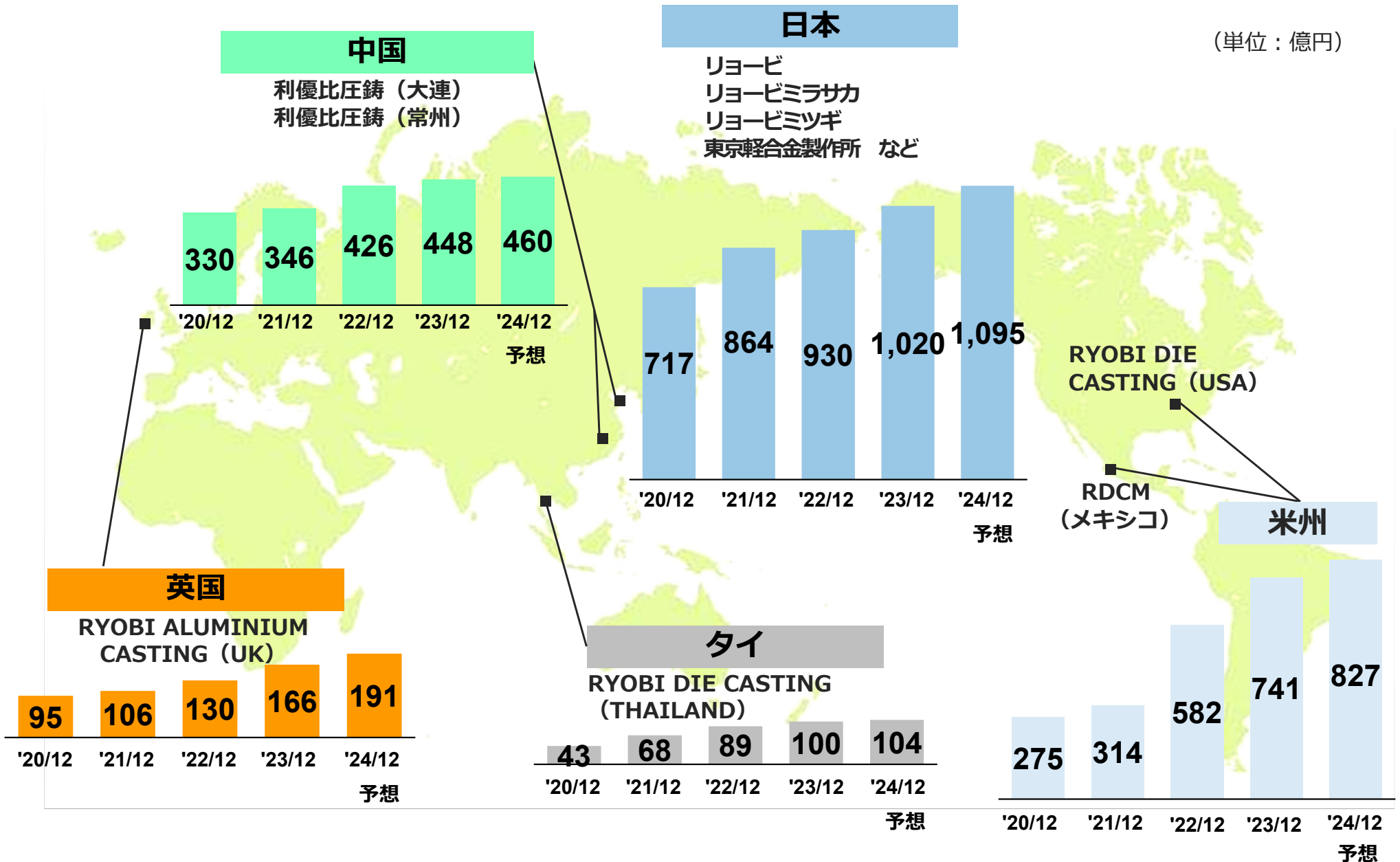
RYOBI

できたらいいなの、その先へ。

ダイカスト事業

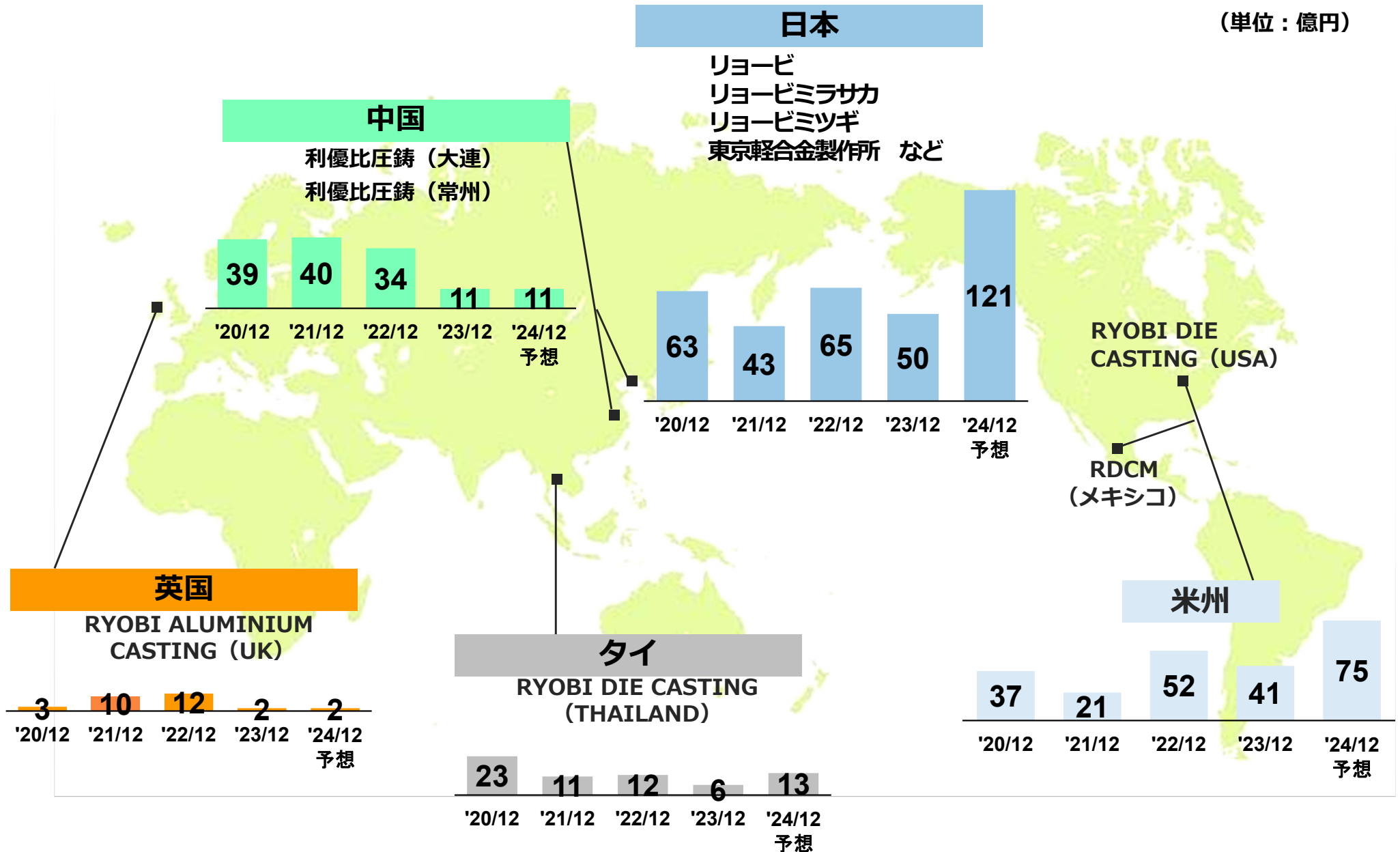
地域別売上高の推移

(単位：億円)



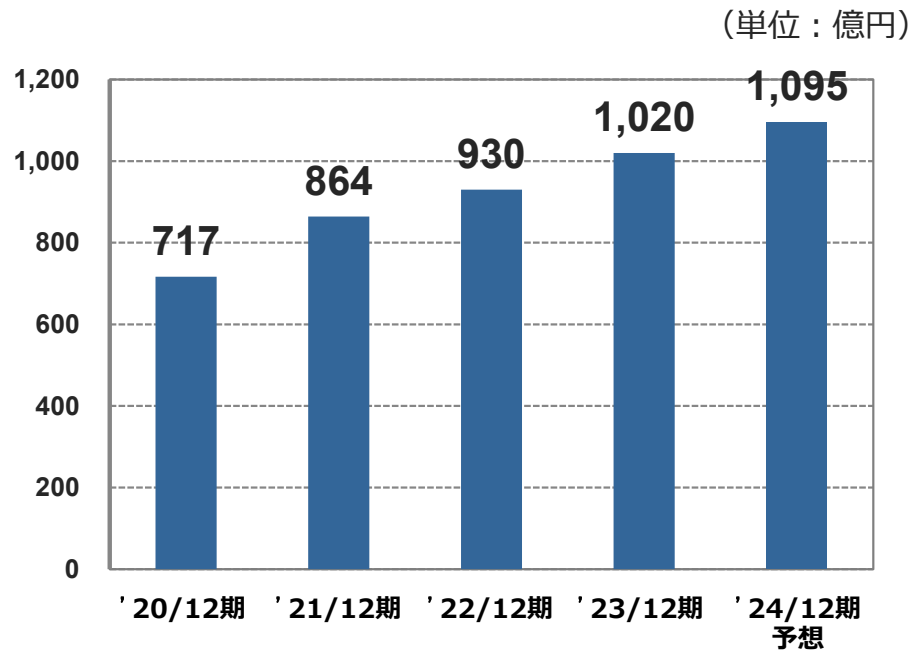
ダイカスト事業

地域別設備投資の推移



ダイカスト事業 -日本-

売上高推移



事業環境

- 半導体等部品不足はほぼ解消し、自動車生産は回復傾向
- BEV販売の拡大は、中国や欧米より遅れているが、政策主導で今後も進む
- 自動車メーカーはエンジン開発の縮小・撤退を宣言する会社と開発を継続する会社に分かれる
- 軽量化ニーズの高まり(鉄からアルミへの置き換え)

主要な取組み

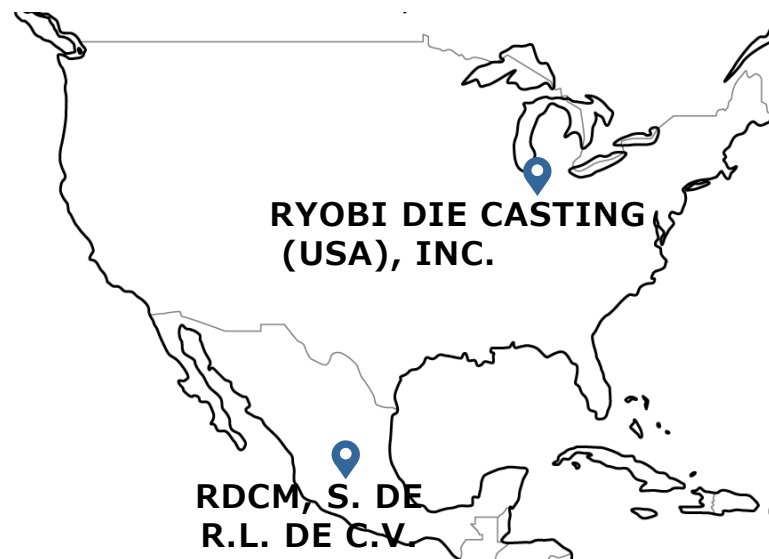
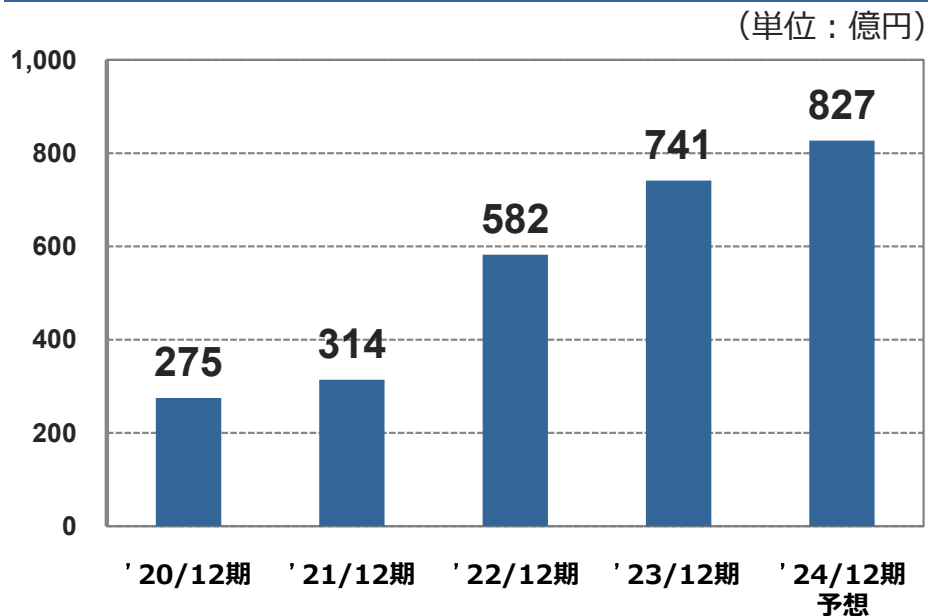
- 戦略製品（軽量化・電動化部品）の新規品受注拡大
- 戦略製品の生産体制構築
- 超大型構造部品 casting に取組み



リョービ
広島東工場

ダイカスト事業 -米州-

売上高推移



事業環境

- 部品不足や新型コロナ影響による物流停滞などの問題はほぼ解消し、生産増加傾向
- 米国では高採算のトラックやSUVに焦点を移し、EV生産目標を減らしている
- 賃金上昇に伴う労務費増(最低賃金上昇)
- 2024年は利下げ局面に入り資金調達環境動向により自動車購買意欲の上昇

主要な取組み

- スムーズな新規品立上げと生産性の向上
- 労務費等の上昇対応(生産工程見直し等)



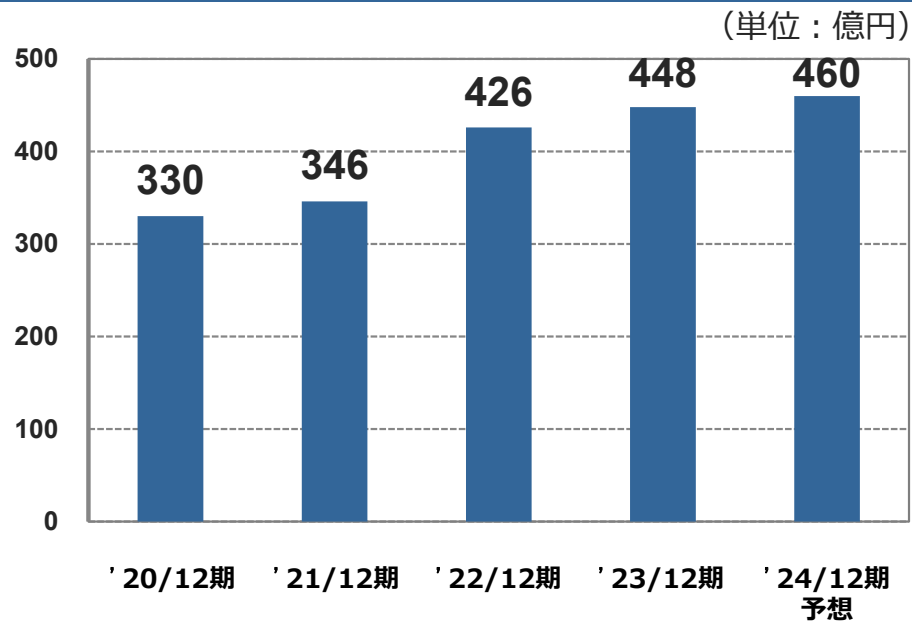
RYOBI DIE CASTING (USA), INC.



RDCM, S. DE R.L. DE C.V.

ダイカスト事業 -中国-

売上高推移



事業環境

- ゼロコロナ政策解除に伴い中国の自動車生産は回復、年間30百万台を上回る規模に
- BEV・PHEVの販売シェアが30%超に拡大
- 車両取得税の減免措置延長や緩和的なナンバープレート取得条件などBEV・PHEVへの優遇政策続く

主要な取組み

- 優良顧客との関係強化と拡販
- 中国内での生産体制最適化 既存設備の有効活用



RYOBI DIE CASTING
DALIAN CO., LTD.



RYOBI DIE CASTING
CHANGZHOU CO., LTD.

ダイカスト事業 -英国・タイ-

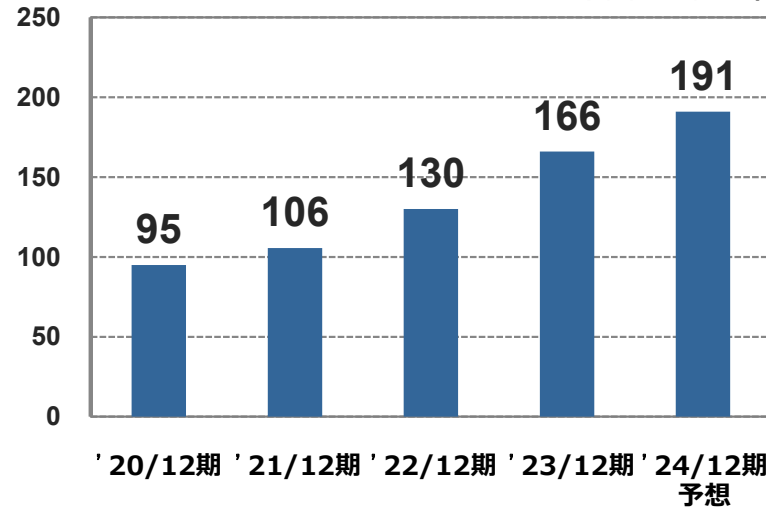
英国



RYOBI ALUMINIUM
CASTING (UK), LIMITED

売上高推移

(単位：億円)



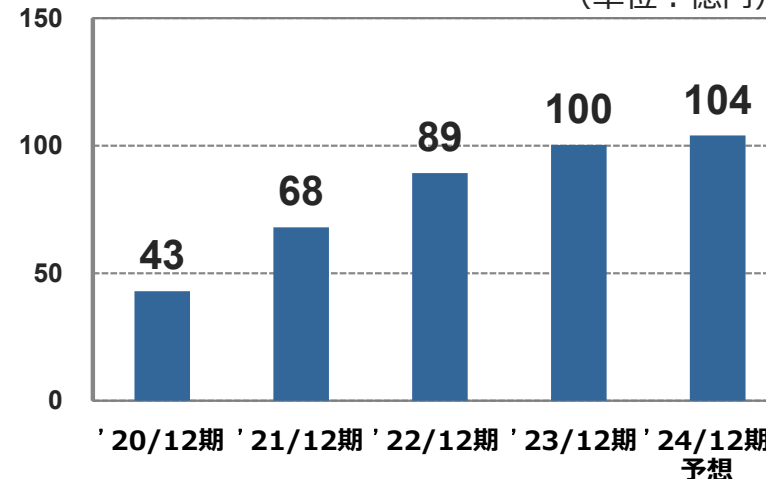
タイ



RYOBI DIE CASTING
(THAILAND) CO., LTD.

売上高推移

(単位：億円)



事業環境

- 部品供給問題の緩和により、欧州全体での自動車生産は微増
- エネルギー価格高騰に対する価格転嫁を引続き強化
- 政策金利高止まり(自動車販売購入意欲低下懸念)

主要な取組み

- 生産性の向上(不良率の改善)
- 価格交渉推進(適正化)

事業環境

- BEVの販売が拡大(政府による普及支援策)
- 中資系EVメーカー台頭

主要な取組み

- 日系の現地化案件を中心とした新規品受注獲得
- 生産性の向上(不良率改善)